北海道七飯養護学校おしま学園分校 学校だより第３号（通巻 249 号）　令和８年 10 月 23 日発行

はぐくみ

前期の取組を振り返って

北海道七飯養護学校おしま学園分校教頭　大　山　伸　吾

校舎の周りの木々の様子や吹く風の変化に、秋の訪れを感じる季節となりました。保護者の皆様、おしま学園の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

令和8年度の学校教育目標を、「子どもを真ん中に－自立と社会参加に向けて必要となる資質・能力を身に付ける－」として、これまで様々な取組を進めて参りました。

これまで日々の学習はもちろん、大きな学校行事を通じて、心身ともに目覚ましい成長を感じさせてくれました。

５月の「四者合同石別ふれあい大運動会」では、石別小学校と石別中学校、地域の皆様と小学部・中学部の児童生徒が一緒に競技に参加する姿に、大きな感動に包まれていました。また、Withプロジェクトとして、高等部生徒による「当別浜清掃」が今年度もスタートしました。

７月の中学部2年宿泊研修では、サービスセンターはこだてや函館空港見学などを行い、一人一人がルールやマナーをしっかりと意識して活動することができました。

９月の「一日防災学校」では、火災を想定した避難訓練や消防車からの放水体験などを行い、日常からの備えの大切さを学ぶことができました。

後期は、各学部の「見学旅行」や「学習発表会」、地域と協働する「トラピスト通り並木道ライトアップ」などの行事が予定されています。日々の学習も大切にしながら、子どもたち一人一人の「よさ」や「可能性」を引き出し、子どもたちの「安心・安全」を最優先に教育活動を実践してまいります。今後とも、変わらぬ御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

学習の様子

「小学部の様子」

今年度の小学部６年生の見学旅行は、函館市内での泊を伴う学習でした。過去の校外学習で利用させていただいたグリーンピア大沼でのプール体験に加えて、大沼遊覧船体験をしました。宿泊は湯の川の啄木亭でした。食事の楽しみもありますが、温泉を楽しみにしており、11 階の露天風呂にゆったりと浸かりました。２日目は、函館市熱帯植物園と函館山です。函館山の山頂は強風でしたが、風に負けずに函館山からの道南の風景を満喫しました。大変有意義に過ごすことができた２日間でした。５年生については、公共交通機関（いさりび鉄道）を利用した校外学習を予定しています。次号でその様子をお伝えいたします。

（文責：学部主事　辻）





「中学部の様子」

９月10日（木）晴天に恵まれた中、校外学習に行ってきました。今年は、元町公園を散策して、北海道警察函館方面本部では、庁舎見学やパトカーや白バイの乗車体験をしました。みんなとても良い表情を見せていました。最後に働くことに関することを、警察官の方に質問させていただきました。緊張している中でも、真剣な表情で丁寧に質問していたのが印象的でした。

その後の昼食や買い物学習でも、自分が食べたいメニューや買いたい物を事前に決めたことで、計画的に活動することができました。事後学習では、自分が楽しかったことや、質問したことをまとめ、一人一人の思いを発表することができました。

（文責：学部主事　山崎）

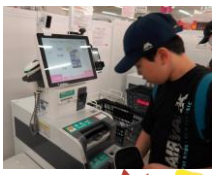














「高等部の様子」

９月１０日（木）に校外学習として、大野農業高等学校との交流及び共同学習と、外食体験や買物学習を行いました。大野農業高校では、６月に播種したトウモロコシと枝豆の収穫に挑戦し、農業高校の生徒さんに手順を教わりながら協力して作業を進め、交流を深めました。収穫した枝豆は、その場でゆでて試食させていただいたほか、翌日の給食で調理していただき、全校の児童生徒で味わいました。種まきから収穫、そして味わうところまでを体験することができ、実りある交流となりました。

昼食は、２・３年生がイオン上磯店のフードコートで自ら注文し、１年生は近隣のファミリーレストランで事前に選んだメニューを食べ、支払いは生徒自身で行いました。午後はイオン上磯店で予算を考えながら買物学習に取り組みました。公共の場でのふるまいやお金の使い方を実際の場面で学び、一人一人が自分で考えて行動しようとする姿が見られました。

（文責：学部主事　山田）






PTA 施設見学会が開催されました！

9月 17 日（木）に PTA 施設見学会が実施され、午前4名、午後5名の保護者の皆様が参加されました。

「ほほえみホーム旭岡」は今年5月開設の新施設で、男性5名の枠に対し現在1名が入居中です。随時体験実習を受け入れており、利用者のニーズに寄り添うスタッフの熱意が伝わりました。

「ワークセンター一条」では砂袋作製や水耕栽培など幅広く取り組み、午後の侑愛会「クッキーハウス」では多様なクッキーやパンを製造・販売しています。

各施設では、利用者が一人で取り組めるよう特性に応じた手順書やジグ（補助具）が用意され、高い集中力や技術が発揮されていました。個人エリアも本人の嗜好に合わせレイアウトされていました。余暇の作品が館内を彩る温かい雰囲気の中、実際に目で見ることで、具体的な仕事内容や一人ひとりを尊重する支援の工夫を深く知ることができました。

今回の見学が、お子様の将来像を具体的にイメージするきっかけになれば幸いです。

なお、地域の事業所情報は下記ガイドからもご覧いただけます。ぜひご活用ください。



（文責：PTA 教養部担当　上野）

【函館市・北斗市・七飯町　就労福祉サービス事業所ガイド】

第 17 回卒業生と保護者の会（おしまたんぽぽ会）について



夏休み中の7月 31 日に視聴覚室で、おしまたんぽぽを実施しました。当日は、卒業生5名、卒業生の保護者の方6名、旧職員 4 名の参加がありました。皆さん懐かしい学校に笑顔で集まってくれました。総会のあと、近況報告やゲーム（ボッチャ大会）、校歌、記念撮影など、1 時間あまりの時間でしたが楽しいひとときを過ごすことができました。卒業して同窓会に入会すると年に1度の同窓会や同窓会便りの送付があります。学び舎を懐かしみ忘れずにいてくれるとうれしいです。

（文責　キャリア支援部　和倉朋子）

北海道特別支援教育関係 PTA 連絡協議会第1回研究大会（胆振・日高大会）



10月3日（土）平取町で行われた北海道特別支援教育関係 PTA 連絡協議会第1回研究大会（胆振・日高大会）に、オンライン参加いたしました。

開会式の後の顕彰式では、今年度、加藤 PTA 会長がこれまでの特別支援教育 PTA 活動への功績を讃えて、顕彰を受けられました。

その後の独立行政法人国立特別支援教育総合研究所ウェルビーイング S&I センター上席総括研究員（兼）センター長・久保山茂樹氏による全体講演では、「大人も子どもも いま ここ を大切に!～子育ての合言葉は それでいいよ だいじょうぶ～」と題して、子育てをすることのよさや難しさ、共生社会の実現等についてわかりやすく講演していただきました。

分科会では、参加者はそれぞれの障がい種別の分科会に分かれて参加しました。本校が参加した知的障害（義務併置校）分科会では、美唄養護学校 PTA から「障がいの有無を超えて同一空間で過ごせる『たまり場』の実現に向けて」と、南幌養護学校から「南幌養護学校の保護者主体の PTA 事業について～児童生徒、保護者、教職員、地域がともに「南養っていいね!」と語り合える学校づくり～」をテーマに提言がなされました。それを基に、各学校の課題や取り組みについて交流を図りました。

体験発表では、特別支援学校の卒業生4名の社会参加と自立に向けた自己の体験や将来の夢や希望についての発表がありました。

来年度は、札幌市での開催となります。開催方法については未定ですが、機会がありましたら、ぜひ御参加をお待ちしています。

（教頭　大山　伸吾）

11月12月の予定

月	日(曜日)	行 事	月	日(曜日)	行 事
11月	14日(土)	学習発表会	12月	2日(水)	見学旅行(高2,3年)
	16日(月)	振替休業日		～4日(金)	
	20日(金)	PTA 茶話会・役員会		9日(木)	石別中との交流及び共同学習(中)
	25日(水)	外部団体による食の指導		22日(木)	トラピスト通り並木道ライトアップの
	27日(金)	石別小との交流及び			見学
		共同学習(小)		24日(木)	2学期終業式

※今後、行事が変更になることがあります。その場合は早めにお知らせします。

お知らせ～中学部所属の西ひかり先生が10月13日から産前休暇に入りました。元気な赤ちゃんの誕生を祈りつつ、また分校に戻ってきてくれる日を待っています。